



LET'S PLAY Indiacca

www.japan-indiacca.com

36 2013.11

〒101-0061
東京都千代田区三崎町 2-20-7
水道橋西口会館内
TEL.03-3512-2801
FAX.03-3512-2802
E-mail : JIA@japan-indiacca.com

Japan Indiacca Association ● 一般社団法人 日本インディアカ協会

第4回インディアカワールドカップ in Japan 開催決定

去る2013年7月23日にドイツ/ビーティッヒハイム-ビッシンゲンで開催されました国際インディアカ協会理事会並びに総会において、2015年開催の標記大会について審議され、満場一致で日本での開催が承認されました。

この決定を受け、早速、開催地の選定をしなければなりません。いくつかの候補地を考えてはいますが、地理的条件、会場となる体育館の条件、各国から参加する選手役員の宿泊施設と会場地への交通手段の条件、開催地におけるインディアカ関係者の支援体制などを考え12月末までに会場を決定したい。

開催期日については、2015年8月の最終週を国際協会が希望しているのでそれにそいたいと思います。従って24日もしくは25日からの6日間ということになります。「第2回インディアカワールドチャンピオンシップス」は、茨城県のつくば市で開催され、5カ国による大会でしたが、今回は7カ国による大会となります。

ワールドチャンピオンシップスは、ナショナルチームの参加ということで、すべての部門各国1チームの参加となっておりますが、今回開催するワールドカップは、シニアの部は各国1チーム、フリーの部は各部門各国2チームの参加が認められています。

詳細が決まり次第各都道府県協会並びに本協会ホームページに掲載いたします。



“第4回 インディアカ世界選手権大会” 開かれる (4th Indiacca World Championships in Bietigheim-Bissingen)

2013年7月23日(火)～27日(土)ドイツのシュトゥットガルト近郊の町、ビーティッヒハイム-ビッシンゲンで開催されました。

参加国は、ドイツ、スイス、エストニア、ルクセンブルク、ベルギー、ポーランド、日本の7カ国。いつも涼しいはずのドイツの気候も日本同様異常な暑さで、びっくり。けれども大会会場は、新しくできた“Ege Trans Arena”というアイスホッケーの会場でしたので冷房が完備されており、快適でした。大会日程は下記のとおり。



<大会期日>

・2013年7月23日(火)～27日(土)

<大会内容・日程>

- ・7/22(月) 選手並びに役員到着
国際協会理事会/技術委員会
選手の練習
- ・7/23(火) 国際協会総会
選手練習
「開会式」
「歓迎パーティー」
- ・7/24(水) 大会予選
- ・7/25(木) 大会予選
- ・7/26(金) 大会予選
- ・7/27(土) 大会決勝
表彰式・開会式
「さよならパーティー」
- ・7/28(日) ライヒェルトシャウゼン (Reichertshausen) で「日独親善大会に参加」
- ・7/31(水) 帰国



なお、大会結果は下表のとおり。

Mixed40+	Women40+	Men40+	Mixed Open	Women Open	Men Open
1. Estonia 2. Germany 3. Switzerland 4. Japan 5. Luxembourg 6. Poland	1. Estonia 2. Germany 3. Switzerland 4. Japan 5. Luxembourg	1. Germany 2. Estonia 3. Luxembourg 4. Switzerland 5. Japan	1. Germany 2. Estonia 3. Japan 4. Switzerland 5. Luxembourg 6. Belgium 7. Poland	1. Switzerland 2. Germany 3. Estonia 4. Luxembourg 5. Japan	1. Germany 2. Luxembourg 3. Estonia 4. Switzerland 5. Japan 6. Belgium

2013年度事業計画[抜粋]

「一般社団法人日本インドアカ協会」に移行し3年目を迎え、事務量はかなり簡略化され、事業の推進も円滑にできるようになった。しかしながらここ数年続いている会員、審判員の減少は大きな課題であり、各都道府県、専門委員会等と協力し、その対策を講じなければならない。

具体的には、本協会が主催する全国レベルの大会をはじめ、ブロック大会、県レベルの大会を更に活発化させるとともに、スポンサーの開発も手がけたいところである。

本年度は、公益目的支出事業の一環として、「全日本シニアインドアカ大会」を、インドアカ愛好者の要望も踏まえ開催したいと考える。年々増えていくシニア層へのインドアカ活動の機会拡大も図っていかねばならない。

また、将来を見据えたジュニア（11歳～16歳）へのアプローチを専門委員会等と研究し、実践に結びつけたいと思う。

また、本年は「Indiaca World Championships」（インドアカ世界選手権大会）がドイツで開かれる予定で、日本からも合計5チームが参加を表明している。

都道府県協会は勿論のこと日本協会にとってもインドアカ愛好者の拡大、会員の増大は永遠の課題であり、組織発展の源であります。飛躍的な伸びは考えられずとも一步一步組織の充実を図っていきたいと考える。

【組織の整備・強化】

＜個人会員・公認審判員・公認指導者の拡大＞

- ・現在、全国レベル及びブロックの大会はすべて日本協会の個人会員（公認審判員・公認指導者を含む）でなければ参加できないシステムになっているが、都道府県レベルの大会では必ずしもそうっていないのが現状である。今後は都道府県レベルの大会もこれに準じるように働きかけ、個人会員の拡大を図る。
- ・都道府県レベルの大会は、帯同審判制を採用し、資格の活用と拡大を図る。またブロック、全国レベルの交流大会も、主審以外は帯同審判員によって競技運営をする方向を目指す。
- ・会員数や、公認審判員数の関係で大会等が開催できない県にあっては、参加費に差をつけて、会員でない選手も参加を受け付け、入会の機会をつくる。
- ・都道府県レクリエーション協会やスポーツ推進委員協議会などの協力を得、まだインドアカを知らない人々へのアプローチを考え、新しい愛好者の拡大を図る。
- ・個人会員、公認審判員、公認指導者資格取得の意欲を喚起するパンフレットを活用し、一般市民に広く配布し周知に努める。

【競技会の開催】

【各種全国大会】

- 『第19回（2013）ジャパンフレンドシップインドアカリーグマッチ』
・2013年6月23日（日）東京体育館128チーム（700名）
（社）日本インドアカ協会の個人会員、公認審判員を対象にして毎年1回開催され、日頃の練習の成果の発表の場として、また、会員相互の親睦・交流の場としても重要な大会である。
- 『第9回全日本インドアカトーナメント』
・2013年6月22日（土）東京体育館80チーム（480名）
この大会は、2005年度から新しく開催されたもので、今回が第9回大会となる。市町村大会⇒都道府県大会⇒ブロック大会⇒全日本大会へと組織的に連動した大会である。また、2年に一度開催される世界大会の予選を兼ねており、大きな高まりを見せている。（本年度この世界大会が7月にドイツ／ビーティッヒハイムで開催される）
我が国のインドアカ競技の最高レベルの大会として、交流・親善大会である「ジャパンフレンドシップインドアカリーグマッチ」と両極に位置する大会である。
- 『第8回全日本シニアインドアカ大会』
・2013年11月24日（日）さいたま市記念総合体育館81チーム（468名）
年々増加するシニア会員のニーズに対応すべく、オールジャパンレディース大会に代えて、本大会を復活する。
なお、この大会は社団法人さいたま観光国際協会の助成（申請中）を受けて、開催するものです。
- 『第36回全国インドアカ大会』
・2013年10月27日（日）北九州市立若松体育館58チーム（307名）
「第67回全国レクリエーション大会」の中で開催される。

【ブロック大会】

- 『第27回北海道・東北ブロックインドアカ大会』
・2013年9月15日（日）岩手県花巻市「花巻市総合体育館」
- 『関東甲信越ブロックインドアカ大会』
・2013年11月17日（日）埼玉県所沢市「所沢市民体育館」
- 『第21回東海・北陸ブロックインドアカ大会』
・2013年11月10日（日）岐阜県関市「関市総合体育館」
- 『関西ブロックインドアカ大会』
・2013年10月20日（日）大阪府四條畷市「四條畷市総合体育館」
- 『中・四国ブロックインドアカ大会』
・2013年5月26日（日）岡山県倉敷市「倉敷市水島緑地福田公園体育館」
- 『九州・沖縄ブロックインドアカ大会』
・2013年5月19日（日）長崎県諫早市「新諫早市体育館」

【公認審判員の養成】

【公認C級審判員の養成と認定】

＜公認C級審判員認定講習会の開催＞全国各地 30回 600名

＜公認C級審判員認定・登録＞ 580名

【公認B級審判員の養成と認定】

＜公認B級審判員認定講習会＞ 2回 50名

＜公認B級審判員認定・登録＞ 50名

【公認A級審判員の養成と認定】

＜公認A級審判員認定講習会＞ 1回 20名

・2013年11月23日（土）～24日（日）

さいたま市「さいたま市記念総合体育館」（第8回全日本シニアインドアカ大会）

＜公認A級審判員認定・登録＞ 20名

【公認指導者の養成】

【公認インドアカ指導者の養成と認定】

＜公認インドアカ指導者移行講習会＞

・東日本地区 20名

・2014年2月8日（土）茨城県土浦市霞ヶ浦体育館

・西日本地区 20名

・2014年3月8日（土）愛知県一宮市勤労福祉会館

【登録更新】

＜個人会員＞ 800名

＜公認C級審判員＞ 2,000名

＜公認B級審判員＞ 150名

＜公認A級審判員＞ 7名

＜公認指導者＞ 50名

【公認A級審判員研修会・公認B級審判員研修会・認定員研修会】

公認A級並びにB級審判員が3年に1回、最寄りの開催地に集合し、指導法・審判法・競技運営法・安全管理等の実践研究を行う。

またルールの共通理解や大会運営について学習する機会として開催している。

＜公認B級審判員研修会＞

・『東日本地区』2014年2月8日（土）～9日（日）

茨城県土浦市霞ヶ浦体育館

・『西日本地区』2014年3月8日（土）～9日（日）

愛知県一宮市勤労青少年会館

＜公認A級審判員研修会＞

・期日未定（東日本地区／西日本地区）2会場

＜認定員研修会＞

・『東日本地区』2014年2月8日（土）～9日（日）

茨城県土浦市霞ヶ浦体育館

・『西日本地区』2014年3月8日（土）～9日（日）

愛知県一宮市勤労青少年会館

【国際交流事業】

＜Indiaca World Championships 2013 in Deutschland＞

期日：2013年7月23日（火）～27日（日）

部門：男子の部、女子の部、男女混合の部、シニア男子の部、シニア女子の部、シニア男女混合の部

会場：ドイツ ビーティッヒハイム

【東日本大震災義援金の募集継続】

・2011年3月11日の大震災で被災されました方々への義援金の募集を2013年も引き続き行いたい。

都道府県協会が行う各種大会、講習会等で義援金募集をお願いいたします。日本インドアカ協会としては、昨年同様被災されましたインドアカ協会関係者に対象を絞って義援金を送りたいと考えます。

＜義援金振込口座＞

郵便振替：00170-2-274986

「一般社団法人日本インドアカ協会」

2012年度事業報告[抜粋]

(2012年4月1日～2013年3月31日)

【競技会の開催】

〔全国大会〕

- 「第8回 全日本インドアカ トーナメント」
 - ・2012年6月23日（土）
 - ・東京都渋谷区千駄ヶ谷「東京体育館」
 - ・80 チーム
- 「'12 ジャパン フレンドシップ インディアカ リーグマッチ」
 - ・2012年6月24日（日）
 - ・東京都渋谷区千駄ヶ谷「東京体育館」
 - ・128 チーム
- 「第35回全国インドアカ大会」
（第66回全国レクリエーション大会）
 - ・2012年9月22日（土）
 - ・福井県福井市「福井市立総合体育館」
 - ・36 チーム
- 「'12 オールジャパン レディース インディアカ大会」
 - ・2012年10月14日（日）
 - ・静岡県焼津市「焼津市総合体育館」
 - ・33 チーム

〔ブロック大会〕

- 「北海道・東北ブロックインドアカ大会」
 - ・2012年9月16日（日）
 - ・秋田県横手市「横手市立横手体育館」
 - ・47 チーム
- 「関東甲信越ブロックインドアカ大会」
 - ・2012年11月4日（日）
 - ・神奈川県小田原市「小田原アリーナ」
 - ・82 チーム
- 「東海・北陸ブロックインドアカ大会」
 - ・2012年10月28日（日）
 - ・石川県かほく市「かほく市河北台健民体育館・河北台体育館」
 - ・80 チーム
- 「関西ブロックインドアカ大会」
 - ・2012年9月30日（日）
 - ・兵庫県「兵庫県立総合体育館」
 - ・34 チーム
- 「中・四国ブロックインドアカ大会」
 - ・2012年6月10日（日）
 - ・愛媛県四国中央市「四国中央市川之江体育館」
 - ・52 チーム
- 「九州ブロックインドアカ大会」
 - ・2012年7月8日（日）
 - ・宮崎県宮崎市「宮崎市総合体育館大体育室・剣道場」
 - ・52 チーム

【専門委員会の開催】

〔組織委員会〕

- ・個人会員、公認審判員拡大方策をつくりその推進に当たる。
- ・「公認C級審判員」認定の都道府県協会委譲を推進。
- ・都道府県インドアカ協会の育成強化。
- ・市区町村インドアカ協会の育成強化。
- ・公認審判員の資格審査を行い、「公認C級審判員」及び「公認B級 審判員」、「公認A級審判員」並びに「公認指導者」の認定。
- ・「公認指導者制度」を構築する。

〔指導・技術委員会〕

- ・指導技術の研究（指導法）基礎技術、応用技術の研究、審判技術の研究を公認B級審判員研修会並びに認定員研修会に向けて討議、研究を行った。
- ・「公認A級審判員認定講習会」、「公認B級審判員認定講習会」、「公認A級審判員研修会」、「公認B級審判員研修会」、「認定員研修会」、「公認インドアカ指導者移行講習会」の企画、運営を行った。
- ・2012年4月1日から実施される新しいルールに向けて公認審判員認定筆記試験問題の作成を行った。
- ・「公認指導者制度」の周知徹底。
- ・競技規則の改定を行い、2012年4月1日から実施されている。
- ・「審判技術・競技運営」DVD制作に着手。埼玉県のプラスワンとひまわりに出演をいただき、収録を終えた。現在編集の最終段階に入っている。
- ・「インドアカ教本」並びに「インドアカ競技規則 2012年度版」の刊行。

〔事業委員会〕

- ・全国レベルの大会の企画立案。
- ・「'12 ジャパン フレンドシップ インディアカ リーグマッチ」
（東京体育館）
- ・「第8回全日本インドアカ トーナメント」（東京体育館）
- ・「'12 オールジャパン レディース インディアカ大会」
（静岡県焼津市）
- ・ジュニア世代へのアプローチ。
- ・新事業の開発、研究。

〔広報委員会〕

- ・「全日本トーナメント・フレンドシップ大会」の開催案内をマスコミ各社に送付し、取材要請を行った。
- ・機関紙「Let's Play Indica」の編集
- ・〈みんなのスポーツ「インドアカ」〉というパンフレットの作成をし、各都道府県協会に送付。新しいインドアカ愛好者の拡大を図った。

【公認審判員の養成】

〈新規会員登録〉 701 名

〔公認C級審判員の養成と認定〕

〈公認C級審判員認定講習会の開催〉 全国各地 15 回 277 名
〈公認C級審判員認定・登録〉 277 名

〔公認B級審判員の養成と認定〕

〈公認B級審判員認定講習会〉 開催なし

〔公認A級審判員認定・登録〕 焼津市「焼津市総合体育館」 5 名

〔登録更新〕

〈個人会員〉 3,133 名
〈公認C級審判員〉 1,689 名
〈公認B級審判員〉 87 名
〈公認A級審判員〉 23 名
〈公認指導者〉 30 名

〔公認B級審判員研修会・認定員研修会〕

公認A級並びにB級審判員が3年に1回、最寄りの開催地に集合し、指導法・審判法・競技運営法・安全管理等の実践研究を行う。
またルールの共通理解や大会運営について学習する機会として開催した。

＜公認A級審判員・公認B級審判員研修会及び指導者移行講習会＞

『東日本地区会場』 A 級研修会 2012 年 11 月 17 日～ 18 日
土浦市「霞ヶ浦文化体育館」

『西日本地区会場』 A 級研修会 2013 年 3 月 9 日～ 10 日
京都府城陽市「アイリスイン城陽」

『関東甲信越地区会場』（B 級研修会・指導者移行講習会）
2013 年 2 月 23 日～ 24 日
土浦市「霞ヶ浦文化体育館」

〔都道府県インドアカ協会事務局長懇談会〕

- ・「北海道・東北ブロック」 2012.9.15.
秋田県横手市「横手市立体育館」
出席：青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島
欠席：北海道

インドアカ教本 インディアカ競技規則 インドアカ審判技術・競技運営 DVD

好評発売中!!

詳細は8Pを

ご覧ください。



「第9回全日本インディアカトーナメント」開催

愛知県・飛翔(女子)3連覇達成、千葉県・フレッシュクラブ(シニア男女混合)2連覇

第9回全日本インディアカトーナメントは、6月22日(土)東京体育館に於いて、全国6ブロックを勝ち抜いてきた精鋭80チームによって、“インディアカ日本一”を決める熱戦が展開されました。

開会式では、日本インディアカ協会の押塚会長が本大会は“スポーツの殿堂東京体育館”での開催でありインディアカチャンピオンを決めるに相応しい最高の会場であると主催者挨拶をされました。

続いて2013年7月にドイツで開催される「第4回インディアカ世界選手権」に参加する日本代表選手団の壮行会セレモニーが行われました。今年新たに決定した真新しいユニフォームを着た選手団が紹介され、選手団長の佐藤夏月さんが「今度こそ世界チャンピオン優勝目指して頑張りたい」と決意表明しました。

競技では、80チームによる部門別の予選リーグ、決勝トーナメントと進められ、女子の部は飛翔(愛知)、シニア男女混合の部はフレッシュクラブ(千葉)、シニア女子の部は羽根気打(愛知)、男子の部は鈴蘭(千葉)、男女混合の部はひまわり(埼玉)がチャンピオンに、愛知県と千葉県が各2部門で優勝に輝いたのが今大会の特徴でした。

また、飛翔が3連覇、フレッシュクラブが2連覇を達成して来年に期待が寄せられています。

大会成功のため、宮城県から鹿児島県まで全国から参集・編成した80名の審判団のみなさん、そして東京都協会をはじめ首都圏から参加の大会スタッフの皆さんたいへんお疲れ様でした。



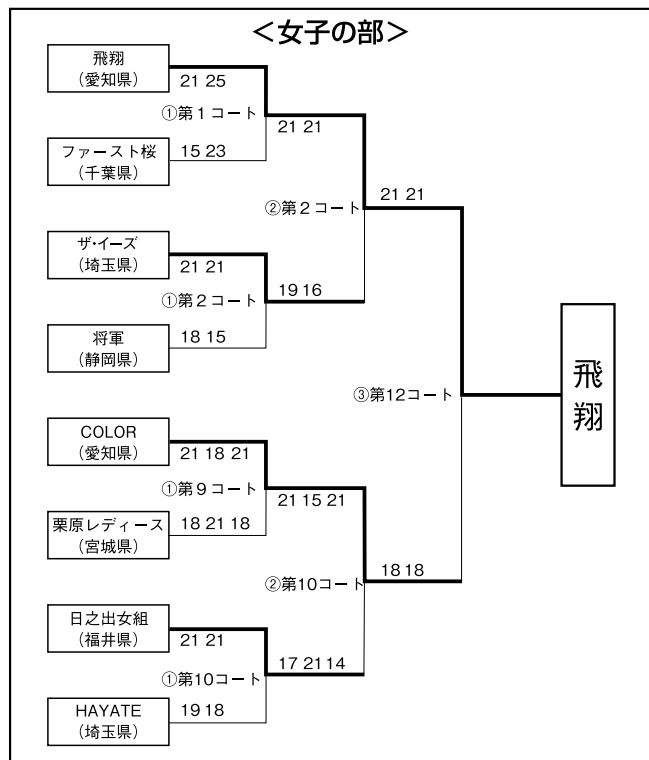
女子の部 優勝「飛翔」(愛知)



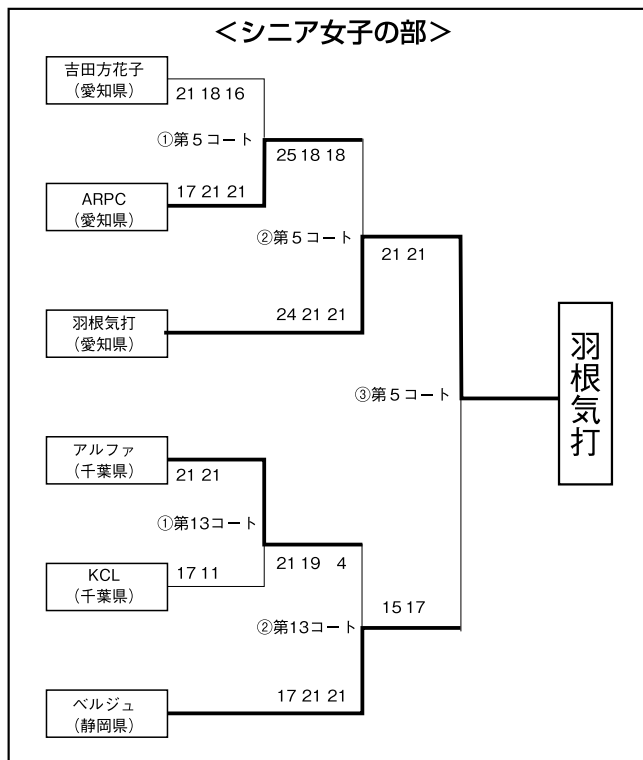
シニア女子の部 優勝「羽根気打」(愛知)



<女子の部>



<シニア女子の部>





男女混合の部 優勝「ひまわり」(埼玉)



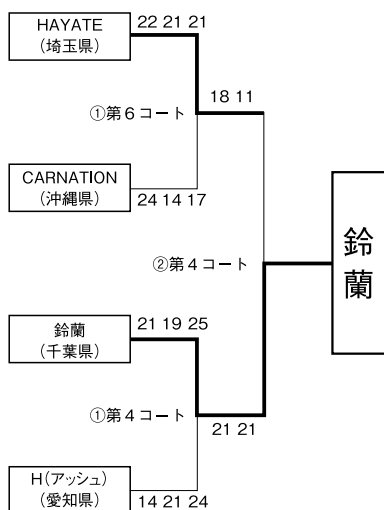
男子の部 優勝「鈴蘭」(千葉)



シニア男女混合の部 優勝「フレッシュクラブ」(千葉)

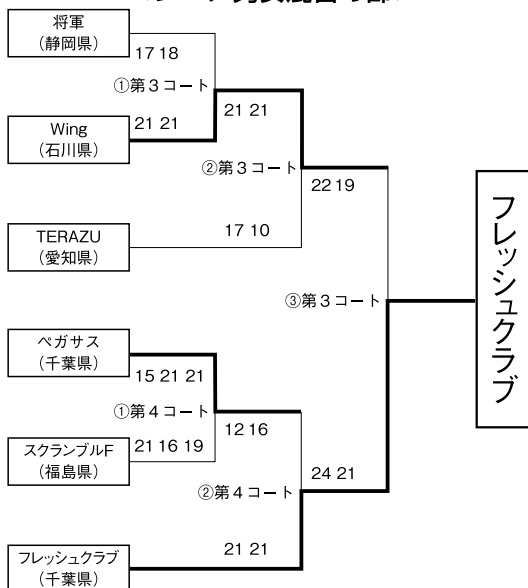


<男子の部>

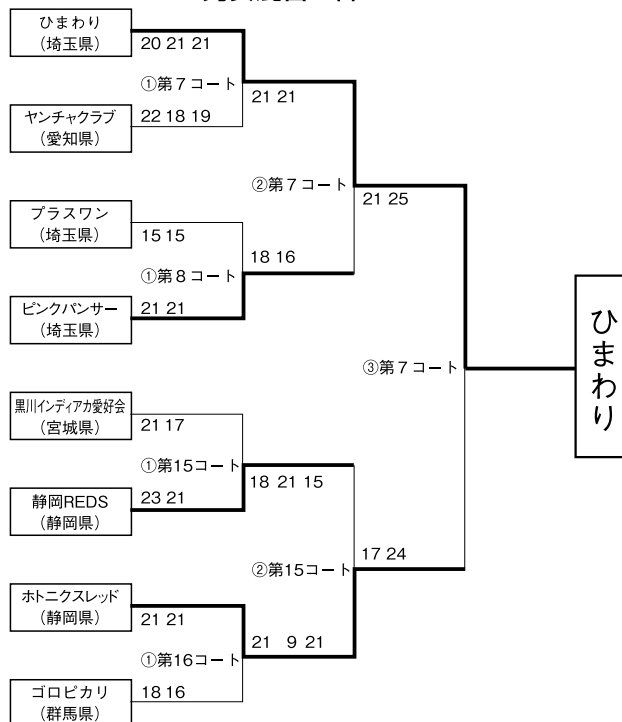


	優 勝	準優勝	3位
女子の部	飛翔(愛知県)	COLOR(愛知県)	ザ・イズ(埼玉県) 日之出女組(福井県)
男子の部	鈴蘭(千葉県)	HAYATE(埼玉県)	CARNATION(沖縄県) H(アッシュ)(愛知県)
男女混合の部	ひまわり(埼玉県)	ホトニクスレッド(静岡県)	ピンクパンサー(埼玉県) 静岡REDS(静岡県)
シニア男女混合の部	フレッシュクラブ(千葉県)	Wing(石川県)	TERAZU(愛知県) ペガサス(千葉県)
シニア女子の部	羽根気打(愛知県)	ベルジュ(静岡県)	ARPC(愛知県) アルファ(千葉県)

<シニア男女混合の部>



<男女混合の部>



「'13 Japan Friendship Indiacca League Match」開催！

第19回ジャパン フレンドシップ インディアカ リーグマッチは、前日のトーナメント大会に続き6月23日(日)東京体育館に於いて、山形県から長崎県まで全国から127チームが参加。今年の大会も昨年に続いて「勇気と希望を 東北地方のインディアカ仲間へ！」発信していこうと開催されました。

開会式では、押塚会長が「この大会は、交流親睦をはかることを目的としています。127チームが発信する勇気と希望が苦しくつらい日々を送っている被災者に届くことを祈ります」とあいさつ。続いて小森谷副会長が、「この大会は16チームを1グループとする8グループ（8色のユニフォーム）の対抗戦です」と競技説明。スーパーシニア男女混合の部「ハイビスカス（鹿児島県）チームによる「お国訛り」（通訳付き）の交流宣言に場内が笑い声に包まれ、和やかに開幕。

閉会式では、1位グループと2位グループ各々16チームが表彰されました。今年も好評の「インディアカ川柳」の応募を大会中に受け、56首の投稿の中から10首が選考披露され、受賞チームに賞品が授与されました。

最後に小林副会長の力強い「三本締め」で800名の手拍子が東京体育館メインアリーナに響き、一日の疲れを吹き飛ばしました。試合結果は次のとおりです。



ハイビスカスの交流宣言で会場は和やかに

今年もアリーナは8色に染まりました

優勝	デイズ
準優勝	ホワイト
3位	ターコイズブルー
4位	オレンジ
5位	ライトピンク
6位	ライム
7位	ロイヤルブルー
8位	レッド

【優勝チーム【デイズ】

【女子】・ミニフレンズ（栃木県）・寒河江パワーズ（山形県）・のびのびレディス（千葉県）

【男子】・フレンドリー（神奈川県）

【男女混合】・ff（フォルテシモ）（千葉県）・テイクアウト（静岡県）・ZERO & Bruce（千葉県）・ミルキー（愛知県）

【シニア女子】・NEC オーロラ姫（新潟県）・ブルーエンジェル（埼玉県）・総和フレンズ（茨城県）

【シニア男女混合】・ファースト（千葉県）・レッドエース（千葉県）・岐阜ティ・エス・シー（岐阜県）

【スーパーシニア男女混合】・小菅レッドウィングス（東京都）



恒例のインディアカ川柳は今回56首もの作品の応募がありました。ありがとうございました。厳正な審査の結果10首が選ばれ、閉会式で発表されました。惜しくも選にもれた作品には、「今でしょ」のフレーズが入ったものが他に4首もあり、健康を気遣うものあり、前日に富士山が世界遺産登録が決まったことを喜ぶものあり、8色のTシャツを詠みこんだものもあり、といずれも甲乙つけがたいものばかりでした。

インディアカ川柳

インディアカ じゃあいつやるの いまでしょ!!
男子の部 男塾（福島県）

Tシャツも うちのかけいも まっかつか
シニア男女混合の部 ひたちなか（茨城県）

後いつてん 緊張するのは しんぱんだ
男女混合の部 ホトニクス（静岡県）

インディアカ おかげで親子 江戸の旅
男子の部 川島体協（香川県）

しあいちゅう からだうごかず くちうごく
男女混合の部 BROWN（栃木県）

パワフルに 動いた後は 整体院
女子の部 習合クラブ（千葉県）

また来れた それで次もと がんばれる
シニア女子の部 フレンドリー（神奈川県）

インディアカ 始め 父母 今 まごこと
シニア男女混合の部 WING（茨城県）

リニューアル わたしの身体も してみたい
スーパーシニア男女混合の部 のびのびアルファ（千葉県）

ふつこうの ちからになると あかいはね
スーパーシニア男女混合の部 がんばれ日本！岐阜県チーム（岐阜県）

震災前よりもメンバーが増え、 元気に楽しくインディアカを続けています

こんにちは、釜石リブリーズです。釜石市は岩手県の南東部に位置しており、東日本大震災で甚大な被害をうけました。当チームも当時15名のメンバーのうち1名が津波の犠牲にあい、5名のメンバーが自宅を流出し避難所生活を過ごしました。震災発生当初からたくさんの仲間から安否確認や支援物資の提供など本当にありがたく今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

震災で市内の体育施設も被災し残された施設は避難所となっていたためしばらく活動できませんでしたでしたがそんな中、全国のインディアカ仲間からの義援金を頂戴し、再びインディアカをやるきっかけを作る自前の用具を購入しました。現在では震災前よりメンバーが増え充実した練習ができるようになりました。

皆さんへ何も恩返しすることができませんが、これからも元気に楽しくインディアカを続けることが、今できる恩返しと思っています。復興はまだまだ先ですが頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。感謝。

釜石リブリーズ 代表 柏崎洋也



東京国体デモ種目大会を東京都八王子市で開催！

「スポーツ祭東京2013」＝東京に多摩に島々に羽ばたけアスリート＝をスローガンに、第68回国民体育大会のデモ種目「インディアカ大会」が、東京都八王子市民体育館で開催されました。



東京都協会は、大会マスコット「ゆりーと」と地元協会と共に、二年前からPR活動を進め、一步一步開催準備を進めてきました。そんな中、大会開催直前に、準備進行責任者である東京都協会事務局長が急逝され、協会役員は進捗状況の再確認など手分けをしながら、別の大仕事に奔走しました。会場の八王子市民体育館は、8コートと施設規模が小さいため、募集48チームと限られた中で、急遽、近隣地域チームでの練習に参加し技術を磨いた初出場のチームや、毎年東京都大会に参加している常連チーム等の参加があり、大きな汗を流しながら、いつものように、それぞれのチームなりにゲームを大いに楽しみ、交流を深めておりました。

冷房設備も無い体育館は、大会当日、例年にない猛暑の中、試合進行も危ぶまれる状況でした。選手の皆さんには、水分補給と体調の自己管理を徹底し、「もう倒れそう、でも、楽しいから頑張るよ！」の声も聞こえるほど、大いに盛り上がった大会でした。

事務局長の詳細な準備のお蔭と、大会運営にご協力をいただいた多数の役員の方々の皆さんの努力が実り、熱射病やけが人もなく、大盛況の中、計画通りの試合を実施することができ、第68回国体デモ大会を盛大に終了することが出来ました。

東日本大震災の義援金募集の中間報告

(社) 日本インディアカ協会では東日本大震災被災者支援の義援金を募集しております。

お預かりした義援金のうち、第一次(～'11.6.30)として2011年8月25日に総額45万円、第二次('11.7.1～'12.3.31)として2012年4月3日総額45万円を、被災された岩手県、宮城県、福島県のインディアカ協会関係者に各インディアカ協会を経由して送らせていただきました。

＜これまでに義援金をお寄せいただいた方々＞
(2012年4月1日～2013年9月9日までの受付分) 順不同・敬称略

- | | | | |
|-----------------|----|-------------------------|----|
| ・茨城県インディアカ協会 | 2回 | ・兵庫県インディアカ協会 | 5回 |
| ・神戸市インディアカ協会 | 2回 | ・沖縄県インディアカ協会 | |
| ・小林三郎 | 2回 | ・長崎県インディアカ協会 | |
| ・24年度大会東京体育館募金箱 | | ・25年度大会東京体育館募金箱・Tシャツ売上金 | |
| ・Tシャツ売上金 | | ・千葉県インディアカ協会 | |
| ・愛媛県インディアカ協会 | | | |

*なお、義援金募集は2014年3月31日まで行います。今後ともご協力お願いします。

【訂正】35号掲載の長崎県インディアカ協会は長崎市インディアカ協会に訂正します。

【義援金受付専用口座】

- ・名義：一般社団法人日本インディアカ協会
- ・口座番号：ゆうちょ銀行 00170-2-274986



インディアカのルール Q&A

＜オーダー表のミス＞

＜Q-1＞ オーダー表を提出後、競技者の位置を間違えて記入したことに気が付き、副審に訂正を申し出た時の副審の対応が2通りあり、訂正ができる場合とできない場合がありますが、副審はどのように対応するのが適切なのでしょう。

[A] 提出されたオーダー表は、訂正できません。
確かに、オーダー表で位置の記入ミスで、副審が許可している場面を見ることがありますが、これは許可してはいけません。
この場合、副審は競技が開始されてワンプレイ後メンバーチェンジによって変える様に指示します。副審は、この様な事にならない様オーダー表を受け取る時に「間違い無いですね」と確認するようにしてください。

＜サーバー順の間違い＞

＜Q-2＞ サーバー順の間違いは、サービスをした瞬間に判断して処理されると思いますが、サービス後ラリーが続いている状態で分かった場合は、どの様に処理するのですか？ また、主審の判定後に分かった場合は、どうするのでしょうか？

[A] 分かった時点で競技を止め、間違えたチームと反対のチームに得点とサービ権が移動します。また、得点が発生した場合は、その得点は破棄します。
その後、サーバーの位置を修正して、競技を再開することを忘れないことです。

インディアカの審判技術・競技運営がよく分かるDVDが発刊されました。



いままで講習会等でしか伝達できなかったインディアカの審判技術、競技運営の方法がついにDVDで提供できることになりました。まさに、公認審判員必携の教材です。

このDVDがあれば、いつでもどこでもインディアカの基本技術、競技運営、ハンドシグナルをしっかりと学べます。講習会等での活用にも、また一人で学習する教材としてもどうぞご活用ください。（一部 3,000 円）

お問い合わせ、お申込は日本インディアカ協会まで。

「インディアカ教本」が最新の情報を盛り込み、改訂されました。

インディアカの特徴・歴史などはもちろん、平成 23 年に成立した「スポーツ基本法」にも触れ、インディアカだけでなくインディアカを取り巻くスポーツ、レクリエーションを正しく理解できる内容になっています。（1,575 円）

●お申込は、「公益財団法人 日本レクリエーション協会」まで。

インディアカのルールは「インディアカ競技規則」（735 円）をご活用ください。



＝ 事務局からのお知らせ ＝

2014 年のトーナメント大会、フレンドシップ大会の日程が決まりました。

- | | | |
|---|---------------------------|---------|
| ・ 10th All Japan Indica Tournament | 2014 年 6 月 21 日（土） | 東京体育館 |
| ・ 2014 Japan Friendship Indica League Match | 2014 年 6 月 22 日（日） | 東京体育館 |
| <hr/> | | |
| ・ B級公認審判員認定講習会 | 2014 年 1 月 12/13 日（日 / 祝） | 千葉県佐倉市 |
| ・ B級公認審判員認定講習会 | 2014 年 3 月 22/23 日（土 / 日） | 広島県廿日市市 |